

各務原市まちづくり活動助成金

市ウェブサイトにも掲載しています

各務原 まちづくり

令和5年度 取材レポート NO.5



この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和5年度交付事業の活動の様子をご紹介します。

令和5年度交付事業…<スタート助成>1年目:2事業 <まちづくり助成>1年目:6事業、2年目:3事業 計11事業が実施中です。

事業名: マルシェによる子どもたちの成功体験応援事業

団体名: NPO 法人 for your smile

<まちづくり助成 2年目>

事業概要

子どもが自己肯定感を高め、自主的に動く力を身に付けられるよう、子どもたち主体のマルシェの開催を目指して学ぶプログラムを実施する



予算

事業費総額: 167,621円(確定)

交付確定額: 55,000円

主な経費

チラシ印刷費、会場装飾、会場費、消耗品、消毒液、プロジェクト使用料

12月3日(日)10:00~15:00、産業文化センター2階第3会議室において「子どもものづくりマルシェプログラム」が行われ、495人の来場者が訪れました。

前年度の反省から混雑を避けるためスペースを考えた配置や動線、時間を掛けない受付方法など工夫をされていたため、大きな混雑には至らず、来場者がゆっくりと買い物や体験を楽しむ姿が見られました。

今回、子どもの出店ブースから大人の姿を極力無くすことで、参加者の子どもたちの自主性が前面に出ることとなり、来場者に個別に声を掛けて商品を体験してもらうなど、工夫して商品の魅力を伝える姿が見られました。また、今回は参加者の保護者が積極的にボランティアスタッフとして会場運営に携わりました。ボランティアスタッフとして携わった保護者は、「子どもたちが頑張っているの、私も何か役に立てたら嬉しい。」と話していました。

事業名: 各務原市全国まちおこし映画祭事業

団体名: 各務原映画祭実行委員会

<まちづくり助成 1年目>

事業概要

地域に根差した映像(まちおこし映画)を制作する団体に呼びかけ、各務原市内で映画祭を開催することで、各務原の魅力発信に繋げる。



予算

事業費総額: 575,366円(確定)

交付確定額: 300,000円

主な経費

司会者謝礼金、チラシ等印刷費、消耗品費、保険料、郵送費、振込手数料、会場使用料、機材レンタル料、チラシ等デザイン費、動画編集委託料

1月7日(日)12:00~18:30、産業文化センター1階あすかホールにて「各務原映画祭」が開催されました。全国から集まった地域映画(まちおこし映画)11作品の上映と監督や俳優のトークショーが無料で行われ、大勢の来場者は普段あまり触れる機会のない地域映画や映画製作の裏話などを楽しみました。また、会場ロビーでは、過去に団体が制作した市内映画作品の上映と市内ロケ地を紹介したパネルの展示も行われました。

当日は、第1部から第4部まで長時間に渡る上映にも関わらず多くの観客が詰めかけました。代表の大野さんは閉会の挨拶で、10年程前に各務原で映画祭をやりたいと思っていたって映画製作団体を立ち上げ、今回ようやく映画祭を開催することができた喜びを話されました。市内で映画祭を開催することで、新たな関係人口が増えることと、市内外の来場者に各務原市の魅力を発信できるのでとの思いから今後も映画祭を市内で続けていくそうです。

映画祭終了後には、産業文化センター2階第3会議室で、映画祭に作品を出展した監督や関係者による交流会が行われました。各務原市の郷土料理・金魚飯などの提供など、来場者だけでなく関係者にも市内の魅力を伝えるよう工夫されていました。

各務原市 市長公室 まちづくり推進課

☎ 058-383-1997

✉ machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

各務原市まちづくり活動助成金とは？

「まちづくり活動」とは、広く市民に開かれ、地域課題の解決に向けた取り組みを行う、自主的かつ公益的な活動をいいます。活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

各務原市では、この「まちづくり活動」にかかる費用の一部を助成※しています。

※令和7年度事業の募集は10月～12月を予定しています。詳細は、まちづくり推進課へお尋ねください。

交付事業は
このマークが目印です。



各務原 まちづくり活動助成金

事業名：ミニ SL による三世代交流再開事業

団体名：ミニ SL 各務原

<まちづくり助成2年目>

事業概要

市内の地域三世代交流を目的に、市内の保育園・幼稚園児にミニ SL に楽しく乗車していただく事業



予算

事業費総額：591,356円(確定)

交付確定額：150,000円

主な経費

SL 本体、モーター、制御装置、車輪、広告看板制作費、ユニフォーム代、保険料、チラシ印刷

1月31日(水)10:00～11:30 子苑第二幼稚園のサッカーグラウンドにおいて、ミニ SL の乗車会が開催され、3歳の未満児から年長児までの園児 322人が乗車しました。

当初は昨年11月11日(土)に保護者会主催での開催を予定していましたが、インフルエンザの流行により中止となっていました。今回、「機会がなくなってしまうのは残念なので」と、園主催で場を設けられたとのことです。

園長の石田先生は、「今回の乗車会を学習とつなげるため、事前に園児たちに切符を渡し、切符を入れるポシェットをつくるなどして準備した。先生に切符を切ってもらい、乗車することで、電車に乗ることの疑似体験になる。現在では『切符を切る』という行為がなくなりましたが、ご家庭で話をする中で、おじいちゃんやおばあちゃんに昔の話をしてもらうきっかけになるかもしれない。」と話されました。子どもたちが乗車後、ミニ SL メンバーに対し大きな声で「ありがとうございます。」と挨拶をすると、ミニ SL メンバーは子どもたちに「またね」と、手を振って応えていました。

事業名：地域文化芸術レガシーの承継と新たなる挑戦2：
第2回貞奴芸術祭(萬松園編と映画編)の開催事業

団体名：創作オペラ「貞奴」プロジェクト

<まちづくり助成2年目>

事業概要

世界で活躍し、日本の近代舞台芸術の先駆けとなった、各務原ゆかりの川上貞奴を顕彰して、各務原内外の音楽家・芸術愛好家らと共に芸術祭を開催する。各務原の新たな魅力的なコンテンツの創出へ向けて第一歩を踏み出す。



予算

事業費総額：417,190円

交付決定額：114,000円

主な経費

出演者謝礼、チラシ印刷代、事務用品代、通信費、パネル出力費、資料等印刷代、振込手数料、チケット販売手数料、会場使用料、機材レンタル費用、映画編技術委託料

3月3日(日)13:00～16:30 産業文化センターあすかホールにおいて、「第2回貞奴芸術祭～映画編～」が開催され、90年前に川上貞奴がプライベート映像として残した貞照寺入仏式記録映画(文化財課デジタルアーカイブ)の上映と、貞奴生誕150周年をきっかけに撮影された映画「貞奴、大いに笑う」(制作:各務原映画祭実行委員会)が上映されました。

会場には団体関係者や映画関係者・報道関係者に加えて一般来場者450人が訪れ、定員486名の座席は満席になりました。映画出演者をきっかけにイベントを知った10代から、歴史が好きな高齢者まで、幅広い年代の来場者が各々の目線で川上貞奴の存在や地域映画の魅力に触れました。

開催前後や休憩時間には、21プラザに設けられた「貞奴さんと、貞奴さんをめぐる市民活動展」にも多くの来場者が訪れました。川上貞奴の生涯や活躍、文化へ与えた影響などの紹介とともに、川上貞奴にまつわる地域での活動が紹介されました。

団体代表の金光順子さんは、「様々な方の協力のお陰で、過去の活動では出会えなかった方たちにも貞奴さんのことを知っていただける機会となりました。これからも貞奴さんをキーワードに、文化芸術活動の振興に貢献していけたら。」と話されました。

以上の内容は、事務局の取材や団体からのヒアリングをもとに作成しました。(令和6年3月発行)